

銭形通信

Vol.10

夏号



Activity Report

Let'sゼニガタ バ〜ベキュー〜



5月22日、Let'sゼニガタは、びわ湖畔で野外バーベキューをしました。「バーベキューをやってほしい」という利用者さんの声から始まったこの企画も今年で3回目。すっかり晩春の恒例行事となりました。その日は薄曇りの天候で心配していた暑さもなくちょうどいいお天気。シーズン真っ盛りということで家族連れや若者グループがあちこちで歓声を上げていました。私たちも負けじと焼いては食べ、食べては焼き……。あつという間に用意した食材はみんなの胃の中に収まりました。いつも思うのですが、バーベキューはどうしてこんなに美味しいのでしょうか？それはやっぱりみんなでいっしょに食べるから。春の暖かい風を感じながら、おなかも心も大満足の日でした。



なごみ大阪食べ歩きツアー

春が終わりをつげ、夏の訪れを感じさせてくれる6月の下旬。デイサービスの利用者さんたちは、大阪にある梅田スカイビル、滝見小路へと食事会に参加されました。地下にあるその食堂街は、昭和初期の街並みを模したレストラン街。一步足を踏み入れば、ご高齢の方々には懐かしさを、若い人たちには新鮮さを感じさせてくれる場所です。そんな街並みを楽しみながらいざレストランへ。人によって食べ物の好みは違いますから、皆さんが思い思いの店にはいっていかれます。昼食を美味しく頂いた後はスカイビルの展望台へ。



その名のごとく地上140m、京都ではタワー以外に体験できないビルの高さ。エレベーターが全面ガラス張りのため、地上がどんどん離れていくのが楽しかったり怖かったり……。頂上から大阪の街を一望。鉄道や車が模型のようで少し不思議な感覚でした。

今月のなごみは夏祭りで盛り上がります！

ぜにがた祭り 特集

7月4日(日)、今年も七夕にあわせて<ぜにがた祭り>を開催しました。当日雨が心配されましたが、昼前には青空が広がり真夏のような暑さとなりました。

今年も屋台は大盛況！次から次へと売り切れ続出で、祭りが終わる頃には屋台の食べ物は全て完売しました。地域のみなさんやご利用者様など大勢の方々にご来場いただき、デイルームは満杯状態。最後までお付き合いいただき、本当にありがとうございました。来年もスタッフ一同心よりお待ちしております。



特賞テレビは誰の手に！？
白熱のビンゴゲーム！

今年もデイルームは満員御礼
移動するのに一苦勞です



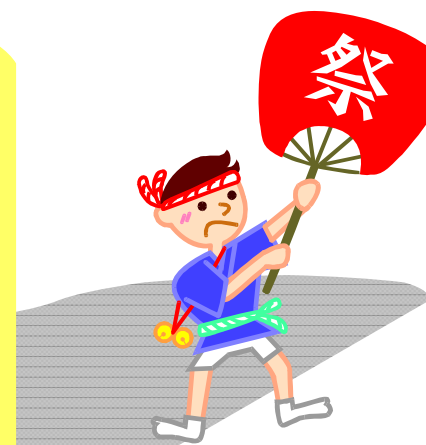
完売続出！！
今年の屋台も大盛況！



ゼニガタメンバーによるダンス

「A-RA-SHI! A-RA-SHI! For you!」

By 真ん中の人



🍀🍀🍀ヘルパーつれづれ日記🍀🍀🍀

菅直人首相が先の所信表明で、医療・介護・子育て支援分野への労働力シフトを通じた経済成長を目指すという趣旨の発言をしました。介護保険制度、障害者自立支援制度の施行により介護という仕事が世に生まれ既に10年余が経ちますが、なかなか人手不足が解消されない現状があります。“これからの仕事”と注目される一方で“3K”職種などと揶揄されるこの仕事……。本当にこの仕事が日本の経済成長を牽引するような産業となるのでしょうか？

さて、事務所のほど近くに私が仕事帰りよく立ち寄り焼鳥屋さんがあります。ある日、私はその店の常連客らしき青年から声をかけられました。彼は某運送会社の営業所に勤める23歳のアルバイトの配達員だそうで、その日は非番で開店時間から一杯やっていたようです。私がヘルパーの仕事をしていると言うと、「僕も実は介護の仕事やってみたいんです。ヘルパーってどうやったらなれるんですか？」と。調子のいい奴だなと半信半疑で話を聞いていると、まんざら嘘ではないようで、自分の生い立ちや今の仕事でのお年寄りのお客さんとのエピソード、福祉施設で働く田舎の母親のことなどを熱く語ってくれました。「介護って今必要とされている仕事じゃないですか？」。私より10歳近く年下の彼のその言葉に、私は今の若者が介護を現実の仕事として具体的にイメージしていることに驚かされました。

私がこの仕事に就いた頃、どちらかといえば一般的な若者には自分が就くべき仕事として介護の仕事はイメージしづらい仕事だったように思います（私も実際そうでした）。家で高齢者や障害者の家族を介護した経験があるなど当時は実体験として介護という問題に直面したことのある人が介護職の多くを占めていたように思います。ですから、その多くは年配の主婦層が中心でした。それがここ最近、街中で利用者を連れたヘルパーらしき若者をよく目にします。中にはヘルパーらしからぬトレンドファッションに身を包んだ“ヘルパー男子”も見受けられます（笑）。ひいき目かも知れませんが、みんな生きいきと仕事をしているように見えます。

焼鳥屋で出会った青年ですが、彼はいま、配達員の仕事を続けながら、週末にヘルパー2級課程の講座を受講しています。私が会社に届いた受講案内を渡したところ早速申し込んだようです。つい先日、講習2日目を終えた連絡を携帯メールでくれました。私は「何の根拠もないけど君の未来は明るい。」という返信を送りました。

彼も、また街中で見る若いヘルパーたちも、介護という仕事に現実的な意味を感じながら頑張っているのだと思います。そして彼らの働きが、彼ら自身の未来だけでなく、日本の社会全体の未来を明るくするのだと思います。菅さんが唱えるまでもなく、若い人たちの感性は、既に介護の仕事を“これからの仕事”としてではなく、いま現実に取り組むべき仕事として捉えつつあるのかも知れません。
(執筆：上原啓輔)

緊急時の対応についてのお知らせ

この度、ご契約上の留意事項として、当事業所の緊急時の対応方法を具体的に定めましたので、下記の内容をご確認いただきますようお願い申し上げます。

緊急時の対応方針及び方法

- (1) 当事業所は、サービス提供にあたっては、利用者の生命を最優先し、利用者の容態の急変等の緊急事態が発生した場合には、速やかに利用者又は家族等と事前に定めた緊急連絡先に連絡を行うとともに、利用者の生命の安全確保に必要な措置を講じます。
- (2) ホームヘルパーは、緊急時において速やかに事業所に連絡するとともに、管理者及びサービス提供責任者の指示のもと、利用者の主治医又は医療関係への連絡を行い、医師の指示に従います。
- (3) 事業所が一刻を争うと判断した場合には、主治医や家族等の判断に依らず、救急車を要請する場合があります。
- (4) 必要に応じて行政や関係機関へ連絡するとともに指導・助言を求めます。

緊急連絡先	有限会社銭形企画
電話番号	075-353-4880
受付時間	電話転送により営業時間を問わず対応します。 (通常のご連絡は、事務所営業時間内にお願ひします。)

なお、緊急連絡先に変更がある場合（携帯電話番号の変更など）がございましたら、必ず速やかに当事業所、又は担当ヘルパーにお伝え下さいますようお願い申し上げます。

『銭形通信 Vol.10 夏号』

発行元：(有) 銭形企画 〒600-8365 京都市下京区丹波口通大宮西入丹波街道町 298 番地
TEL075-353-4880 (代) FAX075-353-4891 E-mail : mail@zenigata-kikaku.jp
編集：上原 啓輔（うへはら けいすけ） 高田 暁仁（たかだ あきひと）